

JUGLER セッション

「症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER」

(ライブ配信)

座長： 多胡 雅毅

佐賀大学医学部附属病院 総合診療部 准教授・副部長・副診療科長

パネリスト：

○志水太郎

獨協医科大学 総合診療医学

○佐々木陽典

東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター

○鋪野紀好

千葉大学医学部附属病院 総合診療科

○和足孝之

島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター

○高橋宏瑞

順天堂大学医学部 総合診療科

現代の病院総合診療医には、あらゆる症候・疾患に対する最新の医学知識に基づいた思考力と行動力が求められる。さらには、診断困難な症例では戦略的思考を駆使して最適解を追求し、弾力性の高い医療を提供できる必要がある。

病院総合診療医が身につけるべき診断推論戦略には、Dual process theory (DPT:二重プロセス理論)、Semantic Qualifier (SQ:セマンティッククオリファイアー)、ラテラル・アプローチ、Pivot and Cluster Strategy (PCS:ピボットアンドクラスター)、解剖学的アプローチ、病態生理学的アプローチなどがある。これらの診断推論戦略を、日々の臨床現場で実践できるスキルへと昇華するためには、症例検討は絶好の学びの場である。

本セミナーは、大学での診療・教育実践をベースとした診断推論戦略の経験に長けたJUGLER (Japan University General Medicine Leadership and Education Roundtable) が担当する。セミナーでは若手病院総合診療医によるケースプレゼンテーションと、JUGLERメンバーがそのケースに対峙した時にどのように診断推論戦略を駆使して診断に迫るのかをリアルタイムディスカッション形式で進行する。本学会若手部会医師が日常診療で経験した診断困難症例についてケースプレゼンテーションを行う。また、診断推論のストラテジーについてエビデンスについても紹介し、病院総合診療医に必要となる診断推論能力を高めることを目的とする。また、症例検討を行う指導医にとっても、本セミナーが参考となれば幸いである。